

ユニオンファンド 月次レポート

第 181 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2023年12月6日作成

MONTHLY TOPIC

2024年に向けた二つのお話

年の瀬を迎え、ただでさえ慌ただしい時期となりましたが、私たちが属する業界は、来年1月に始まる新NISAで随分盛り上がっているようです。何とかこの制度の良さを知って活用していただきたいということで、当社も盛んにセミナーを開催しています。

新NISAについての疑問を解消しましょう

NISAというアルファベット4文字の意味をさっと言える人は、どのくらいいらっしゃるでしょうか。どちらかと言えば少数派かもしれません。NISAは、英国のISA（Individual Saving Account：個人貯蓄口座）の日本版です。頭にNipponのNをつけてNISAと呼ぶことになったようです。投資などによって得られた所得にかかる税金を一定の条件でゼロにすることで、個人の資産づくりを税制面で支援するのが狙いです。

名前はさておき、多くの方にとっては知らないことの多い制度ですから、当社のセミナーでも質問が毎回たくさん出ます。「こんな素人質問をしたら笑われるのではないか」と遠慮される方もいらっしゃいますが、同じように質問を躊躇している方は実は意外に多いので、そうした質問は笑われるどころか感謝されます。新NISAについてわからない点がおありでしたら、何よりご自身とご家族のために、是非セミナーに参加するなどして質問していただければと思っています。

変化の兆しが見える世界の市場

世界の株価は11月に急反発しましたが、けん引役はまたも米国でした。ただ、足元では少しずつ変化の兆しもうかがえるようになってきました。

米国では、世界の株式市場をこれまでリードしてきた少数のIT関連株の動きがやや鈍ってきた一方で、小型株が少し強くなってきました。新興国は、中国株の軟調が続いているため見えにくいですが、堅調な上昇が続いているインド株は12月に入っても高値を更新していますし、アルゼンチン株は足元で驚異的な値上がりを見せました。長らく相対的に弱かった新興国株にも少しずつよい動きが見え始めています。欧州ではドイツが高値まであと一歩で、デンマークやノルウェーは高値更新中です。また、米国の長期金利が低下していることなどを背景に、為替市場ではドルの頭が重くなり、これまで下落が続いた新興国の通貨は対ドルで若干強くなってきました。

投資資金がどこに流れるのか、事前にはなかなかわからないものですが、わからないからこそその分散投資です。ここ数年は米国株とドルが非常に強かったため、米国株への集中投資が有効でした。しかし今後は、まだはっきりした動きではないものの、横への広がり次第に強く見られるようになるのではないかと考えているところです。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2023年11月末現在)

基準価額

34,528 円

純資産総額

122 億 96 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	6.24%
1 年	13.47%
3 年	29.10%
5 年	49.78%
10 年	84.07%
設定来	245.28%

複利年率(%)

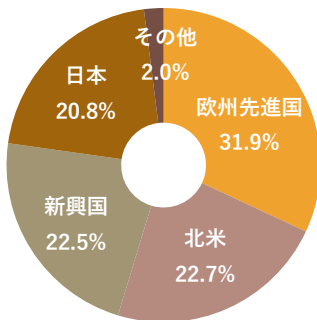
8.54%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

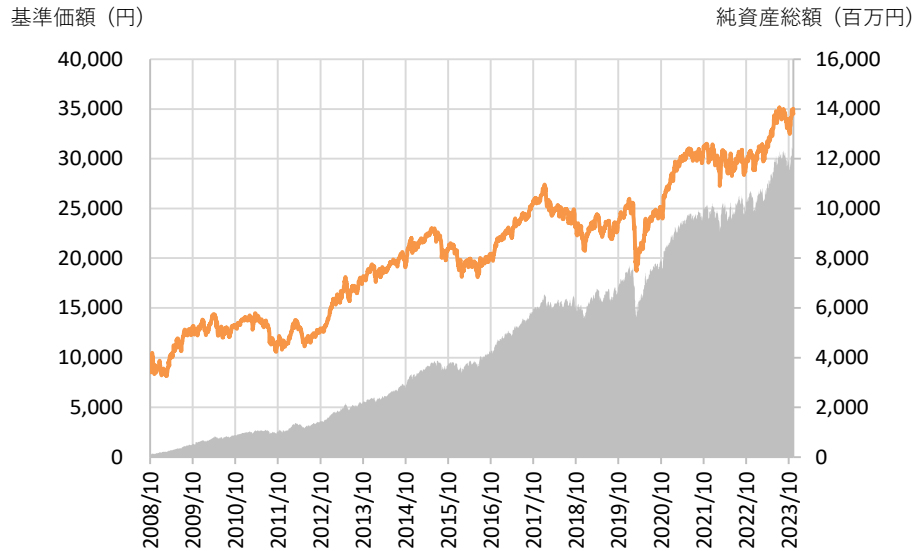
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2023年10月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	6.5%
スパークス F	日本	12.1%	4.8%
キャピタル F	欧米	18.9%	7.5%
ハリス F	欧米	18.8%	6.1%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.5%	12.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.5%	7.2%
現金等	-	14.4%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2023年11月の市場動向と運用状況

投資環境

11月の株価は世界的に大きく上昇しました。米国では、FRB（連邦準備制度理事会）のパウエル議長が、金融引き締め局面は終了した可能性があることと述べたことや、雇用者数の伸び悩みと失業率の上昇で雇用市場のタイト感が後退し、さらには消費者物価指数の上昇が予想をわずかながら下回るなど、全般にインフレ懸念が弱まったことが株価の押し上げ要因になりました。また、ハマスとイスラエルの衝突が中東全体に広がる様子が見られず、原油価格の下落が続いたことも追い風となりました。

欧州では、ごく一部に景気の底入れをうかがわせる指標がありましたが、全般に景気の弱い状態が続きました。欧州中央銀行は金融引き締め姿勢を維持しており、株価は上昇したものの米国株に比べると見劣りしました。また、中国は引き続き不動産市場の状況が悪く、景気回復の兆しもないため、株価はほぼ横ばいで終わりました。世界の株価は、8月頃からインフレの高止まりや高金利政策の継続への警戒が強まり、長期金利の上昇と歩調を合わせて大きめの調整局面にありましたが、11月に入ってから上記のような投資環境の好転を受けて、大きくかつ一気に方向転換した格好となりました。

為替市場では、米国金利の上昇予想が後退したことを背景に、ドルがユーロや円に対して下落しました。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は比較的大きく上昇しました。ただ、組入比率が抑えめだったこと、やや多めに組み入れている日本株と新興国株が相対的に出遅れたことなどから、市場全体の動きに若干出遅れました。売買は見送りました。月末の組入比率は85.6%と、前月末から上昇しました。

今後の見通し

強烈なインフレを引き起こした要因のうち、特にコロナ禍で起きたモノの供給制約は幅広く解消されました。労働力不足についても、雇用状況が極めてタイトに推移してきた米国でさえ緩和に向かいつつあると見えます。いずれインフレがさらに落ちつき、高金利も収まって株価は本格的に上昇するとの予想には、根拠があると考えられます。

とはいえ、11月の株価急反発は、それまでの数か月間に投資家心理が冷え込んでいた反動高という面もかなりありそうです。この秋の初め頃には、「より高くより長く」高金利が続くといった警戒感が広がり、市場は弱気の見方で満ちていました。長期金利は上昇を続け、それを受けて株価は大きめの下落となったわけです。ところが今はこれとは正反対で、「遠からず金利は下がる。だから株は買いだ」との楽観論が広がっているように見えます。投資家の心理は移ろいやすいので、環境好転という背景説明を過大視しないことも大切だと思います。

米国では、投資家心理を示す指標が強気過多だと警告サインを点灯させていますし、投資家の現金ポジションはこの1か月で低下し買い余力は相当弱まった可能性があります。株価反発によって、企業業績と比較した株価の割高感も再び高まってきました。長期的な株価の先行きには強気で良いと思いますが、現実の世界が予想や期待に追いついてくるのを待つこともときに必要です。その間は株価が足踏みとなったり、場合によっては反落したりすることも十分考えられます。このため、買い増しを視野に入れつつも、当面はやや慎重な投資姿勢で臨む考えです。

運用責任者 久保田徹郎

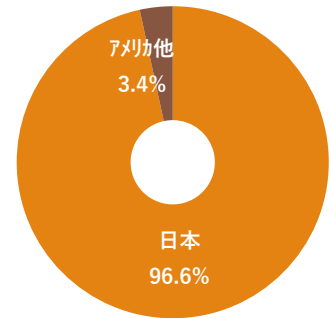
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



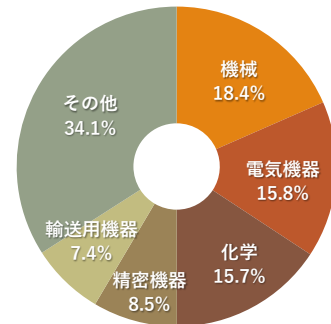
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 プリマストーン	3.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
3 ディスコ	3.7%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
4 トヨタ自動車	3.6%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
5 ダイキン工業	3.6%	日本	機械	エアコン世界首位
6 テルモ	3.4%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 浜松ホトニクス	3.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 INPEX	2.7%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 花王	2.1%	日本	化学	トイレットペーパー首位
10 ニデック	1.9%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
上位10銘柄	32.6%		現金等	13.2%

業種別構成比



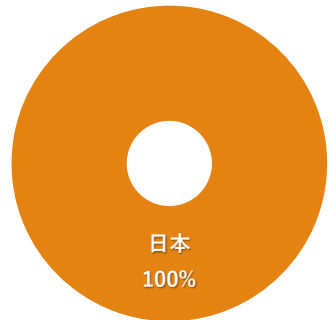
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年11月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



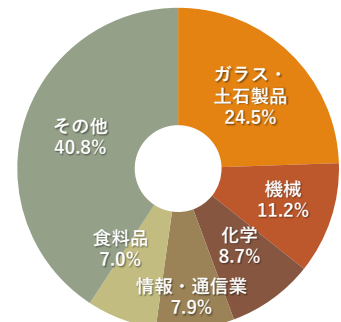
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
サイゼリヤ		日本	小売業	ファミリーレストラン
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等			現金等	7.1%

業種別構成比(マザーファンド)

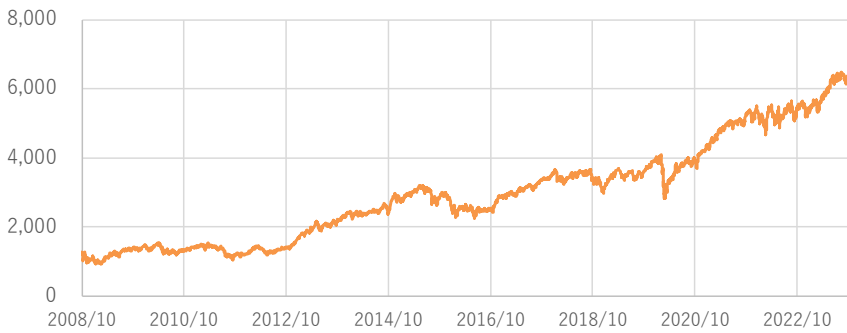


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年10月末現在 >

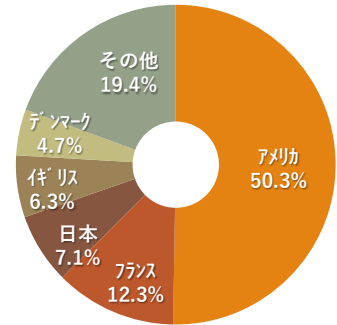
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



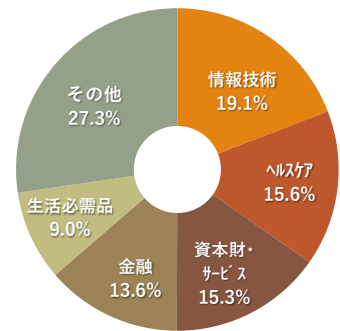
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	3.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Microsoft	2.8%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
3 Broadcom	2.3%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 Alphabet	2.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
5 Apple	2.0%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 Safran	1.9%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 AstraZeneca	1.8%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 TotalEnergies	1.7%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
9 ASML	1.6%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
10 UnitedHealth	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
上位10銘柄	20.9%	現金等	5.9%	

業種別構成比



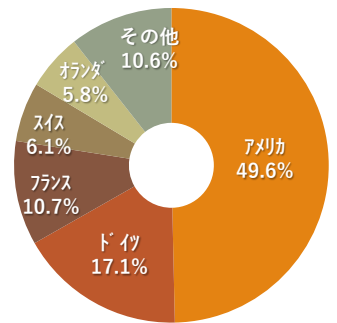
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年10月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



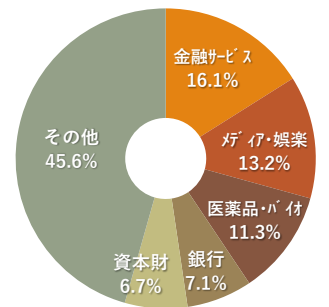
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CHARTER COMMUNICATIONS	4.1%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
2 BNP PARIBAS	3.8%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 ALPHABET	3.8%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
4 CAPITAL ONE	3.6%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
5 FISERV	3.5%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
6 CNH INDUSTRIAL	3.3%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
7 MERCEDES-BENZ	3.2%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
8 BANK OF AMERICA	3.0%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
9 FRESENIUS	3.0%	ドイツ	ヘルスケア機器・サービス	透析医療サービス・関連製品
10 BAYER	2.9%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
上位10銘柄	34.0%	現金等	3.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年10月末現在>

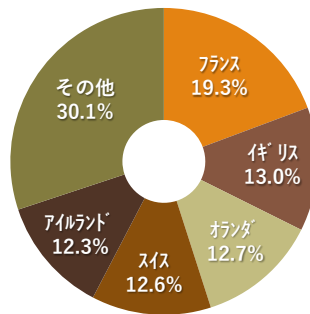
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



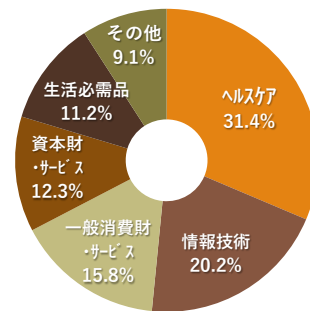
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	7.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	7.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 LINDE	4.7%	台湾	素材	産業ガス世界大手
4 ESSILORLUXOTTICA	4.7%	フランス	ヘルスケア	光学製品
5 ACCENTURE	4.5%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
6 EXPERIAN	3.9%	台湾	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 STRAUMANN HD	3.7%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
8 ALCON	3.5%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
9 LVMH	3.4%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
10 DASSAULT SYSTEMES	3.3%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	47.2%	現金等	3.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



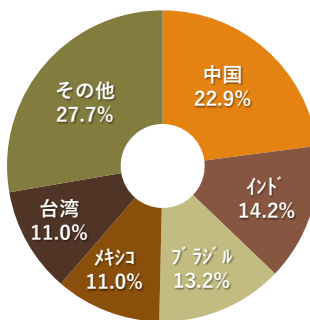
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年11月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



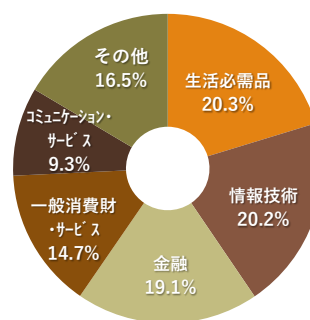
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 FOMENTO ECONOMICO	5.9%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 MERCADOLIBRE	4.9%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
5 DELTA ELECTRONICS	4.5%	台湾	情報技術	電源、変圧器
6 HDFC BANK	4.4%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
7 NETEASE	4.3%	中国	コミュニケーション・サービス	オンラインゲーム
8 MARUTI SUZUKI	4.2%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
9 Wal Mart de Mexico	4.0%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
10 INNER MONGOLIA YILI	3.8%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
上位10銘柄	47.4%	現金等	2.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年11月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

■ 年末年始の営業日・営業時間について

年末年始の営業日・営業時間および取引受付時間は、以下のとおりとなります。

	営業日	営業時間	取引受付時間
年末	2023年12月29日まで	9:00 ~ 17:00	15:00 まで
年始	2024年1月4日から		

※ ファンドを換金（解約）されるお客様で、年内に解約代金お受取りをご希望される場合は、**12月22日（金）15時まで**にお申し込みください。

■ 目論見書の改訂について

2023年12月23日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。

◎ 本改訂にあたり、同日付で次のとおり信託約款の運用の基本方針が変更されます。

・投資対象とする投資信託証券におけるデリバティブ取引の利用目的を、運用の実態に即して、実質的にヘッジ目的に限られていることを明確化するための記載の追加

※ 本変更は、現在のユニオンファンドの基本的な性格を変更させることとなるものではありません。

※ 本変更により、2024年1月からの新NISA成長投資枠の対象商品の要件に適合することになります。

※ 詳しくは、改訂後の請求目論見書をご確認ください。

◎ その他も含めて、今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。

◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部までお申し出ください。）。

■ 新NISA口座開設のご案内

2024年1月より新しいNISA制度が始まります。

弊社に口座をお持ちの対象のお客様へ、11月下旬に「新NISA口座開設のご案内」を発送しております。

制度が恒久化され、非課税期間が無期限となったことで、長期投資による将来のための資産形成にも大きなメリットのある制度となりました。是非ご活用をご検討いただきますよう、お願いいたします。

※お客様から多く寄せられるご質問などを弊社HPのお知らせに掲載いたしました。ご検討、書類ご記入などにあたって是非ご参照ください（今後も随時更新してまいります。）。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。